

第 71 期

令和 5 年度 事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日から
令和 6 年 3 月 31 日まで

福島県郡山市駅前一丁目 1 番 17 号

公益財団法人 湯 浅 報 恩 会

第 71 期（令和 5 年度）事業報告書

1. 事業概況

令和 5 年 5 月、WHO が新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による「国際的な公衆衛生上の緊急事態」の「終了」を宣言し、わが国でも COVID-19 の感染症法上の分類が 2 類相当から 5 類に移行したことにより、3 年半に及んだコロナ禍はようやく収束へ向かうこととなった。これにともない国内の社会・経済活動は徐々に正常化し、インバウンド観光客も大幅に増加、令和 6 年 2 月には日経平均株価が 34 年ぶりに高値を更新し、3 月には日銀がついにマイナス金利政策の解除を決定するに至った。

しかしながら、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、イスラエル・ハマス戦争の激化などの要因が重なったことにより国際情勢は不安定さを増し、欧州で経済情勢が悪化。その一方で、米国経済は堅調を維持するというアンバランスが記録的な円安と諸物価の高騰を引き起こした。このため、国内の個人消費、設備投資は、「バブルの再来」と言われたほどには伸びず、「脱コロナ」を原動力とする景気回復は緩やかなレベルに止まった。

医療経営を取り巻く環境では、わが国の社会構造が「少産多死」時代に突入し生産年齢人口が減少していくなか、令和 6 年 4 月から医師についても「働き方改革」が実行され、元々医師の絶対数不足・高齢化に苦慮していた医療の現場に混乱を招いている。COVID-19 がもたらした患者の受療行動の変化はパンデミックの終了宣言後も継続しており、病院の患者数は外来・入院ともコロナ禍前の水準には戻っていない。医業収入が伸び悩む一方で諸物価の高騰は水光熱費や給食材料費、業務委託費等のコストを押し上げ続け、さらに、令和 5 年 10 月から空床確保等に対する COVID-19 関連の補助金が打ち切りとなったことが、全国の医療機関の経営を厳しく追い詰めている。

令和 6 年度は、診療報酬・介護報酬・障がい福祉サービス報酬のトリプル改定の年に当たる。このうち診療報酬の改定率は、「本体部分が 0.88% の引き上げ」と発表されたが、この中には、看護職員、病院薬剤師、その他の医療関係職種について令和 6 年度・7 年度と連続して賃金のベースアップを図るための特例的対応分の 0.61% が含まれており、薬価・材料費の引き下げ等も含めて考えると、医療機関の経営改善につながることは到底期待できない。

実感をともなわないバブル景気のなか、好決算を迎えた大手企業に引っ張られ賃金水準は全産業で上昇してきているが、目先の人材不足と収支改善への対応に追われる医療・介護経営には、先行きの不透明さからくる不安ばかりが増大している。

2. 部門別事業報告

(1) 法人本部

人事関係では、前年度に続き法人本部に教育・研修担当専従者を配置し、体系的な能

力開発プログラムに基づく教育・研修を実施した。法人内の働き方改革を推進するため、勤怠管理等に ICT を利用したシステムを導入し、職員の業務負荷の軽減を図った。また、令和 5 年 9 月、労働基準監督署から、平日のみならず救急輪番日も含めた、寿泉堂綜合病院の宿日直体制が認可された。

財務面においては、COVID-19 の感染拡大にともなって起こった患者の受療行動の変化と、空床確保に対する補償など COVID-19 関連補助金の縮小～廃止が影響し、令和 5 年度の予算は、寿泉堂綜合病院、寿泉堂香久山病院とも収入が大幅な未達となり、その結果、通期損益は 665 百万円の純損失となった。そのなかにあっても、医療の質と業務効率の向上を推進する観点から令和 6 年 1 月に手術室情報システムを導入するなど、設備投資は計画通り実行した。あわせて、早急に収支の均衡を回復し財務体質の強化を図ることを目的に外部コンサルタントと契約を締結し、医療法人為進会（寿泉堂松南病院）も含めたグループ内連携の強化に基づく増収対策（アクションプラン）の策定に着手、実行可能なものから順次実行に移した。

「郡山駅前一丁目第二地区第一種市街地再開発事業」の施設建築物建設工事については、令和 5 年 4 月から準備工事に着手し、令和 6 年 3 月中旬に基礎躯体工事が完了し、あわせて 1 階部分の躯体工事にも着手している。令和 5 年度末の工事出来高は 10.7% となっており、令和 7 年度末に竣工する予定である。

エネルギー管理関連では、電気・水道・ガス等の使用量は前年度を下回ったものの、事業概況にも記した通り単価の上昇により使用料金が大幅に増額し、収益を圧迫した。

（2） 寿泉堂綜合病院

令和 5 年度は、5 月 8 日から COVID-19 が 5 類感染症に移行したものの患者の受療行動は低迷したままで、入院・外来患者数は予想以上に低水準で推移した。患者数の減少には、医師の退職や休職、人口動態の変化にともなう分娩件数の減少なども影響した。さらに、COVID-19 に関する補助金の大幅な減額により、病院経営はこれまでにない厳しい状況となった。

以下に、令和 5 年度の主な経営指標結果並びに取り組みを示す。

＜財務の視点＞

【入院患者数・平均在院日数】

延べ入院患者数は 68,219 人で、前年度より 6,725 人（9.0%）減少した。

平均在院日数は 9.8 日と、前年度と比較し 0.8 日短縮し、延べ入院患者数減少の大きな要因となった。

【外来患者数・紹介件数（率）】

外来患者総数は 109,660 人（一日平均 380.8 人）で、前年度より 16.8%減少した。

減少の主な要因は、COVID-19 患者、並びに医師退職にともなう整形外科患者の減少である。

初診紹介患者総数も 6,424 人と、前年度より 275 人減少した。

一方で、紹介率は 69.0%と前年度より 3.7%増加し、地域医療支援病院の要件（当院

は、「紹介率 65%以上・逆紹介率 40%以上」で届出)を満たした。

【救急搬送件数・救急入院数】

救急搬送件数は 3,058 件と前年度より 239 件増加し、地域医療体制加算の施設基準 2,000 件を大幅に超え、前年度に引き続き受入件数の過去最高を更新するとともに、救急入院患者も 1,397 人と、前年度より 204 人増加した。

【診療単価】

入院診療単価は、前年度比 0.2%プラスの 64,158 円となった。

外来診療単価は、前年度比 13.5%プラスの 20,093 円となった。

【医業収支】

医業収益は 6,707 百万円で、前年度より 576 百万円と大幅に減少し、予算値 7,470 百万円を達成することができなかった。人件費・材料費・設備関係費等の医業費用は、前年度比 201 百万円減 (2.6%減) の 7,495 百万円であったが、医業本来の収支状況を示す当期経常増減額は 535 百万円の損失となった。一般正味財産増減額では、COVID-19 発生以来受領していた毎年約 600 百万円の補助金収入が、10 月以降に廃止されたことが大きく影響し、561 百万円の損失となった。その結果、償却前一般正味財産増減額でも 86 百万円の赤字となり、前年度より 612 百万円悪化した。

令和 5 年度の増収・費用削減対策では、4 月より順次算定を開始した食堂加算や 9 月に工事が完了した照明設備の LED 化等に取り組んだが、COVID-19 以降減少に転じた新入院・外来患者数の減少と平均在院日数の短縮にともなう延入院患者数の減少分を補うには至らなかった。令和 6 年度は引き続き入院患者数の確保対策を強化すると同時に、令和 5 年 9 月から始まった(株) 日本経営とのコンサルティング契約の中で検討している増収・費用削減対策への取り組みを推進していく必要がある。

＜顧客の視点＞ (顧客満足度向上・サービス向上など)

令和 5 年度 患者満足度調査による肯定的評価は、入院 90.1% (前年度 89.7%)、外来 75.0% (前年度 72.2%) と、前年度を上回った。寿泉堂ポスト等に寄せられた「患者さんからの声」では、減少傾向にはあるが接遇に関する苦情が主な内容となっており、今後も継続して改善に取り組む必要がある。

令和 5 年度は、COVID-19 により自粛していた「ボランティア」の受入を 7 月より再開したほか、9 月には公開医学講座、11 月には寿泉堂病院解剖慰霊祭、外科・消化器内科症例懇話会、12 月には寿泉堂忘年懇話会など、飲食をともなう対外行事を再開した。

また、地域医療連携の強化を目的にお中元・お歳暮時期に、これまで病院長が実施していた「季節の挨拶回り」を、2 名の副院長はじめ、一部の診療科部長の協力を得て行い、集患対策の強化に取り組んだ。

＜業務プロセスの視点＞ (質の向上・効率化・標準化・連携強化など)

令和 5 年度は、法人施設間の連携強化を大きな目標に取り組んだ。(株) 日本経営によるコンサルティングで提案された改善対策を推進するに当たり、新たに医療法人為進会及び財団法人各施設との情報共有の機会を設けるなど、これまでにない積極的な繋がりを持った。令和 3 年度から人事評価制度との連動を開始した BSC への取り組みでは、

各種会議時間の短縮等の効率化をさらに進めた。5月には、令和6年9月に更新を予定している日本医療機能評価機構による病院機能評価受審に向けキックオフ会議を開催、医療機能の質改善への取り組みを開始した。8月には、BCP対策の一環として「医療情報システム等障害対応フローチャート」を作成し、危機管理体制の充実を図った。10月には、福島県から、紹介患者を重点的に受け入れる「紹介受診重点医療機関」の指定を受けた。令和6年1月には、臨床検査室における人員不足対策の一環として「細菌同定・感受性検査」を外注化し、業務の効率化を図った。

施設設備等の面においては、6月に使用頻度の低い7階病棟の2つの2床室を4床室化し、機能性の向上を図った。10月には診療機能の効率性向上と収益性向上も見据え、10階病棟から6階病棟へ「新生児室（第1期：10月～11月）」及び「NICU（第2期：1月～3月）」の移設工事を進めた。11月には老朽化した院内ネットワーク網を更新し、機能性の向上と安全性の確保を図った。また令和6年1月には、これまで手書きで対応していた手術麻酔記録等を「手術室情報システム」の導入によってデジタル化、大幅な業務の効率化と情報共有の推進を図った。

<学習と成長の視点>（職員教育・人員確保・労働環境整備など）

職員教育の取り組みでは、10月に前年度に新組織として立ち上げた「プロジェクトE & T（Education & Training）」の主催によるフォローアップ研修会を開催、2月には課題別研修会を開催し、職員教育プログラムの充実を図った。

人員確保の取り組みでは、10月に2年連続で臨床研修医（歯科医師1名含む）7名のフルマッチングが成立した。

労働環境整備の取り組みでは、8月に「グッジョブカード」の配布を開始し、職員同士が称賛や感謝のメッセージを直接渡し、「組織内で褒め称え感謝すること」ができる組織文化の醸成を目指した。さらに同月、医師の働き方改革の一環として、医師及び臨床研修医の「当直明け」付与を制度化した。9月からは毎月第3土曜日を休診日とし、完全週休2日制に向けて前進を図ると同時に、6階病棟では手術室に続き、完全週休2日制の運用を開始した。10月には、労働基準監督署より、令和5年度の重点目標の1つとしていた医師宿日直許可を再取得した。11月には、職員用free Wi-Fiを開通させ、ITインフラの整備と福利厚生の充実を図った。

その他の取り組みでは、令和6年元日に発生した能登半島地震への災害支援として、1月に災害支援看護師1名を、2月に災害派遣福祉チーム（DWAT）として、社会福祉士・作業療法士2人を現地に派遣し、社会貢献活動に取り組むとともに、職員の意識向上に努めた。3月には、COVID-19の拡大以来4年ぶりに外部会場を利用して臨床研修修了式を開催し、院内コミュニケーションの充実を図った。

(3) 寿泉堂香久山病院

令和5年度の総括にあたり、収入の要である入院については、市内急性期病院との入院受入調整システムへの参加により増患を図ったが、COVID-19及びインフルエンザのアウトブレイク（全病棟で計6件）による入院制限等の影響もあり、1日

当たりの入院患者数は 198.8 人（前年度比+2.2 人、予算比-13.2 人）と前年度を上回るものの予算値を大幅に下回る結果となった。外来では、アウトブレイクの減少、運用の見直しにより COVID-19 の検査数が減少したことが大きく影響し、前年増加分を維持することができなかった。令和 5 年度も COVID-19 のワクチン予防接種施設としての事業を継続し、令和 6 年 3 月の公費接種終了まで約 1,400 件の接種を行い約 2.7 百万円の増収となった。また、新規加算の取得に着手し、療養病棟では 4 月、地域包括ケア病床では 5 月より看護補助体制充実加算の算定を開始したことで年間約 22 百万円の増収を得た。補助金については、COVID-19 関連のほか、物価高騰補助金等約 24 百万円を受領した。

9 月に副院長に着任された循環器内科の柴信行医師の尽力により、令和 6 年 10 月の電子カルテ運用開始に向けた院内体制再整備及びベンダーとの協議を重ね、医療 DX を大きく加速させている。また、二次性骨折予防継続管理料の算定へ向け、菅野副院長を中心に二次性骨折予防チームを結成し、職員 6 人が骨粗鬆症マネージャーの資格を取得。12 月には寿泉堂綜合病院の山田仁整形外科部長を講師に研修会を開催し、連携を深めながら積極的な活動を継続している。

地域との交流、職場環境改善では、COVID-19 の流行により 4 年間中断していた「いきいきサロン」を再開、地域高齢者の健康増進を啓蒙し、郡山市との協定を結ぶ「郡山市認知症高齢者 SOS 見守りネットワーク連絡会」へ加盟及び職員 32 人の登録を行い、地域包括ケアの推進に貢献した。

患者、家族、職員が利用する病院内の売店を入院セットの委託先である株式会社アメニティに変更し名称を「KAGU ストア」としてリニューアルオープン。同社からは商品販売以外にも利用者に利便性の高いサービスの提案がありホスピタリティの向上が図られた。

今年度は医療法施行規則が改正され、医療機関のサイバーセキュリティ確保（対策）が義務化された。当院ではこれにあわせて医療 DX を推進すべく情報システム室を新たに立ち上げ、医療機関における ITBCP（情報システム運用継続計画）の整備、サイバーセキュリティ対策チェックリストの作成及び実施、機器管理台帳・ネットワーク構成図等の作成を行い、セキュリティ環境を整備した。また広報紙「JS ネットワーク」の配信により職員の IT リテラシーの向上に努めている。

支出面では物価、光熱費等の高騰が予算を上回る状況下、物価高騰補助金等の受け取りにより概ね安定した運営を行っていた折、令和 4 年 1 月 24 日～26 日にかけて発生した大寒波の影響で新館屋上の外調機が破損、26 百万円の修繕費用が発生し収支を圧迫した。

令和 5 年度で COVID-19 関連の特例措置が終了し、各種補助による収入が途絶えたなか、新たな診療報酬改定を増収の契機とする病院運営が必須となる。新院長の下、積極的な患者の獲得、寿泉堂グループ間の連携を強化し、活気ある香久山病院を取り戻し、黒字化への転換を目指したい。

(4) 寿泉堂クリニック

(透析センター)

透析監視装置 49 台は、集中管理方式による透析液供給体制でオンライン HDF（血液濾過透析）対応装置となっているが、今年度の血液濾過透析実施率は平均 97.0% と高く、より小分子蛋白質などの除去効率が高く質の良い透析を提供できた。また、更新した透析情報集中管理システムにより、財団内施設の透析情報の共有化をさらに進めることができた。

COVID-19 対策では、発熱患者等へ PCR 検査等を積極的に実施し、陽性患者等の隔離透析による感染拡大防止対策を徹底した結果、施設内での伝播を防御できた。

透析延べ患者数は病院車利用による患者送迎を開始したこともあり 19,409 人と前年比で 173 人 0.9%増加し、診療単価はオンライン HDF の実施率がアップ、透析時運動指導や足病変に対する処置等の実施により 716 円 2.2%増加したことで、収入総額は前年比 13 百万円 2.1%増加の 635 百万円を確保できた。

(健診センター)

今年度は COVID-19 感染者数が少ない状況下でのスタートだったが、7 月以降増加しはじめインフルエンザの流行も加わり年度末までその影響を受けた。感染拡大防止対策として、体調の確認、接触歴や罹患歴の確認を徹底し、該当のあった受診者については一定期間受診制限を行ったことで、延期やキャンセルが多く発生したが、健診業務は休止することなく継続することができた。

また、保健衛生活動の推進にかかる特定保健指導を積極的に行い、今年度は 148 人に実施できた。人間ドック健診者への当日結果説明は 100%実施し、うち保健指導は 899 人・26.0%（前年 969 人・27.4%）の受診者に行い、生活習慣病の予防・改善に取り組んだ。

感染対策を行いながらではあったが、健診者延数は年間 17,524 人、収入総額は前年比 4 百万円 1%増加の 411 百万円で過去最高となった。

(クリニック総括)

透析部門は郡山市内の透析ベッド増にともなう激戦区となっているため、当クリニックでも無料送迎による患者確保に努めているが、実患者数は年度当初より 1 人増加に止まった。健診部門は、COVID-19 の影響を受けながらではあったが 6 月以降高水準を継続し、受診者数・収入とも過去最高を記録することができた。

寿泉堂クリニック全体の医業収益総額は 1,050 百万で前年比 1.5%・16 百万円の増収となり、医業費用は薬品・透析材料の見直しや建物修繕があったことで前年比 38 百万円増加した。その結果、減価償却前利益は 316 百万円で前年比 13 百万円減少したが、対医業収益利益率は 30.1%と前年並みの利益を確保することができた。

(5) いずみ訪問看護ステーション

<財務の視点>

年間訪問件数は 3,018 件で前年比+255 件であった。新規利用者を積極的に受け入れ、

月平均利用者数が増加し訪問件数アップに繋がった。特別管理加算、緊急時訪問看護加算算定者を維持し、年間を通して看護体制強化加算の算定ができた。医療保険対象のがん末期の利用者は、急な入院や死亡により短期間で終了することが多く、ターミナルケア加算算定ができないケースが続いた。加算算定率は上期で 46%と低めであったが、下期はターミナルケアのタイミングを逃さないように努め、算定率 84%にアップすることができた。

<顧客の視点>

退院者の 80%に退院当日の訪問を行い、退院直後から介入するように努めた。24 時間いつでも対応できる看護体制は、利用者や介護者の安心に繋がり、在宅療養を継続するうえで重要な支援である。利用者満足度調査の結果、ケア内容、時間外の対応、他職種連携等の 5 項目で「とても良い・良い」の回答割合は 97%と前年度よりアップした。

地震などの自然災害が多発しており、日常的な災害時対策は重要である。利用者全員にマイ避難カードを作成し、個別的な災害時対策や避難指導を実施することができた。

<業務プロセスの視点>

意思決定支援をするうえでスタッフや多職種連携は重要である。必要な情報を共有するためのスキルとして ACP シートを作成することができた。他職種を交えたデスカンファレンスに参加できたことは、貴重な機会となった。得られた知識は、今後の終末期看護に役立てていく。

<学習と成長の視点>

意思決定支援、エンドオブライフケア、未来ノート、がん看護研修などに積極的に参加し専門的な知識の習得に努めた。在宅三部署研修では事例検討を行い、他職種との意見交換を通し訪問看護師の役割を理解することができた。今後も自己啓発に努め、知識、技術、マネジメント力の向上を目指していく。

(6) 寿泉堂香久山居宅介護支援事業所

<財務の視点>

ケアプラン件数は年間 1,831 件で前年比 35 件増加した。特定事業所加算Ⅱの算定を維持することができ、新規相談を積極的に受け入れ、入退院時は医療機関とも連携を図ることで初回加算や入院、退院・退所等に関する加算の算定数も増えた。在宅看取りを希望する利用者や家族のため訪問診療や訪問看護等と連携し、緊急時等居宅カンファレンス加算やターミナルケアマネジメント加算の算定ができた。

COVID-19 が 5 類に移行となったため介護認定調査が再開となり、年間 26 件の調査を担当した。

<顧客の視点>

利用者の介護度別では要介護 1、2 の軽度者が 69%、要介護 3～5 の中重度者は 31%と前年と比較し軽度者が微増した。独居や高齢者世帯が多く、認知機能の低下や介護度が高くなるにつれて人的・物的・経済的環境等が整わないと在宅介護を続けることが難しく、施設入所などにより終了となることも多かった。認知症や身寄りがいない、高齢者

虐待など権利擁護を必要とする利用者や 8050 問題など家族支援を必要とするケースも多くなってきている。

居宅介護支援事業所は人生の最終段階に関わることが多いため、利用者や家族の意向や思いを受け止め、寄り添い、利用者だけではなくその家族への支援の視点を持ち業務に取り組んだ。

<業務プロセスの視点>

処遇困難ケース対応のスキル向上を目的に、事例検討を積極的に実施した。医療や介護だけではなく障がい福祉制度や成年後見制度、高齢者虐待対応などについても検討し、課題解決スキルの向上に努めた。

自然災害や感染症が発生しても業務継続ができるよう、業務継続計画（BCP）の作成に取り組んだ。

実習生は福島県介護支援専門員実務研修を 1 人、ポラリス保健看護学院より 10 人、看護協会より 1 人の実習を受け入れた。

<学習と成長の視点>

事業所内研修の充実を図り、倫理や面接技術、接遇、メンタルヘルス、ハラスメント、防災、ACP などの研修を実施した。地域のインフォーマル資源を実際に体験し、社会資源が活用できるよう研修を実施した。

利用者やその家族が住み慣れた地域で安心して在宅生活が継続できるよう、ケアマネジメント力を向上させ支援していきたい。

（7）郡山南部地域包括支援センター

<財務の視点>

担当地区の高齢者数は前年度に比べて 100 人増加し 6,542 人、高齢化率は 26.9%と 0.5%増加した。要支援者・事業対象者のケアプラン作成件数は 2,943 件で、前年比 58 件増加した。予防給付・総合事業の新規者を積極的に受け入れ、要支援者・事業対象者の初回加算算定は 111 件で、前年比 27 件増加した。

自立支援の観点で介護保険以外のボランティアや社会資源の活用を考慮した予防ケアプランの作成を行ない、請求件数の目標値が達成できた。

<顧客の視点>

新規相談対応は 310 件で前年比 56 件増加し、高齢者の増加にともなう相談件数の増加が見られており、要介護・要支援認定者や認知症の方が増加している。ワンストップサービスの拠点として、医療機関や認知症初期集中支援チームをはじめ、多機関との連携を図ることができ、迅速に相談対応することができた。

金銭管理の問題、虐待、セルフネグレクト、身寄りがいないケース、ゴミ屋敷化しているケース、8050 問題など相談も複雑化し支援が長期化しているケースもあった。

地域活動については、コロナ禍前の状況に戻りつつあり、通いの場やいきいきサロン、郡山市社会福祉協議会などで健康教室を開催することができた。また、地域の通いの場のフォローアップを行い、新たに 1 箇所の立ち上げの支援を行った。

＜業務プロセスの視点＞

地域ケア会議は、個別会議を 3 回開催した。双葉町の避難者の困難ケースで介護支援専門員の後方支援を行い、行政・保健所と課題解決に向けて検討を行った。また、徘徊する認知症のケースを民生委員、認知症初期集中支援チーム、郡山警察署と情報共有し連携を図った。圏域会議は名倉地域で開催し、8050 問題について話し合い、横のつながりを強化しネットワークの強化を図った。

認知症施策推進のため、協議体と協働し認知症サポーター養成講座を開催した。健康教室で認知症ケアパスの普及を行った。

災害が発生しても事業所の運営が継続できるよう、業務継続計画（BCP）の作成に取り組み見直しを行った。

＜学習と成長の視点＞

地域包括支援センター協議会の専門職部会やブロック活動、研修会等に積極的に参加し、研修内容は部署内で伝達し専門知識の向上に努めた。

今後も地域ごとの特性や実情に応じて柔軟かつ効率的な取り組みを推進し、地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいきたい。

3. 収 支 報 告

「2. 部門別事業報告」に述べた各部門の事業経過の結果、法人全体の令和 5 年度医療収益総額（内部取引消去前）は 9,770 百万円となり、前年度に対して 583 百万円・5.6% 減少した。これに大幅な減額となった COVID-19 関連を含めた受取補助金（設備投資に対する補助金振替額を含む）292 百万円を加えた経常収益は 10,156 百万円となり、前年度に対し 1,022 百万円・9.1%の大きな減少となった。対する経常費用総額（内部取引消去前）は、10,786 百万円と前年度比 203 百万円・1.9%減少したものの、その差額である令和 5 年度の当期経常増減額（経常損益）は 630 百万円の赤字となった。

前年度末に寿泉堂綜合病院で主力医師の退職があったほか本年度も年間を通じての医師の休職があったこと、COVID-19 の感染症分類が 5 類に移行してからも各部門で患者数・利用者数が低迷し、期末を迎えても回復しなかった影響はあまりに大きく、経常外増減額を合算した当期一般正味財産増減額（当期純利益）でも 665 百万円という多額の損失を計上した。

この危機的状況を脱するため、令和 6 年度は、公益財団法人湯浅報恩会に止まらず医療法人為進会、社会福祉法人いずみ福祉会までもが一体となった相互連携を徹底的に強化することによって患者数、利用者数の増加を図り増収を実現するとともに、費用削減対策にも徹底的に取り組まなければならない。同時に、寿泉堂綜合病院では新生児特定集中治療室管理料、総合入院体制加算等新たな施設基準の取得、並びに DPC 機能評価係数Ⅱの向上、寿泉堂香久山病院では医療療養病棟の病床転換による病棟再編を実施するなどして、法人の収益構造の変革を図っていくことが不可欠である。

4. 役員会報告

本年度の理事会・評議員会等の開催状況は、次の通りである。

(1) 理事会

① 定 時

開催日 令和 5 年 6 月 13 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告・決算報告について
- ・ 第 2 号議案 会計監査人の監査報酬について
- ・ 第 3 号議案 理事の任期満了に伴う理事候補者の選任について
- ・ 第 4 号議案 評議員候補者の選任について
- ・ 第 5 号議案 定時評議員会の招集について

報告事項

- ・ 郡山駅前 1 丁目第 2 地区市街地再開発事業報告について
- ・ 関連施設の現況報告について

② 臨 時（みなし決議）

みなし開催日 令和 5 年 6 月 28 日

議決事項

- ・ 代表理事（理事長）選定について
- ・ 業務執行理事（副理事長）選定について

③ 臨 時（みなし決議）

みなし開催日 令和 5 年 9 月 16 日

議決事項

- ・ 常勤役員退任に伴う退任慰労金支給について

④ 定 時

開催日 令和 6 年 3 月 27 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 令和 6 年度事業計画・収支予算案について
- ・ 第 2 号議案 令和 6 年度借入限度額設定について
- ・ 第 3 号議案 特別管理職の退任並びに選任について
- ・ 第 4 号議案 令和 6 年度事業計画書等の福島県への提出について

報告事項

- ・ 令和 5 年度決算見通しについて
- ・ 郡山駅前 1 丁目第 2 地区市街地再開発事業の状況報告について

(2) 評 議 員 会

① 定 時

開催日 令和 5 年 6 月 28 日

議決事項

- ・ 第 1 号議案 令和 4 年度事業報告・決算報告について

- ・ 第2号議案 理事の任期満了に伴う理事の選任について
- ・ 第3号議案 評議員の選任について

報告事項

- ・ 郡山駅前1丁目第2地区市街地再開発事業の状況報告について
- ・ 関連施設の現況報告について

(3) 業務監査・会計監査に関する会議

- ① 令和4年度第70期会計監査人監査報告
開催日 令和5年6月7日
内容 決算報告書に関する監査結果報告
- ② 令和4年度第70期監事監査
開催日 令和5年6月7日
内容 業務監査及び会計監査
- ③ 会計監査人と理事者等とのディスカッション
開催日 令和5年9月7日
内容 監査計画についての説明
- ④ 会計監査人とのディスカッション
開催日 令和6年3月26日
内容 決算に向けての検討事項の把握

(4) その他

常勤理事出席による財団運営会議を毎月第1週に開催した。

5. 診療報告

(1) 令和5年度の患者数等は、次の通りである。

(患者数)

	寿泉堂総合病院		寿泉堂香久山病院		寿泉堂クリニック		合 計	
	人	前年比	人	前年比	人	前年比	人	前年比
外来患者総数	109,660	83.2%	10,273	75.4%	19,646	99.8%	139,579	84.2%
一日平均	380.8	85.2%	35.7	77.1%	62.8	99.4%	479.3	86.2%
新患者数	12,502	95.3%	529	31.8%	215	66.6%	13,246	87.7%
入院患者総数	68,219	91.0%	58,265	102.5%			126,484	96.0%
一日平均	186.4	90.8%	159.2	102.2%			345.6	95.7%
新入院患者数	6,323	98.1%	475	104.4%			6,798	98.5%
退院患者数	6,346	98.2%	487	104.5%			6,833	98.7%
病 床 数	305	100.0%	199	100.0%			504	100.0%

(寿泉堂香久山病院介護医療院) 令和1年10月1日開設

	令和5年度	令和4年度	増減	前年比
入所者総数	14,480 人	14,900 人	－420 人	97.2%

一日平均	39.6 人	40.8 人	－1.2 人	97.1%
新入所者数	27 人	24 人	3 人	112.5%
退所者数	26 人	26 人	0 人	100.0%
療養床数	51 床	51 床	0 床	100.0%

(救急患者数及び救急車による受入件数)

寿泉堂綜合病院

	令和 5 年度	令和 4 年度	増減	前年比
入院	1,471 人	1,424 人	47 人	103.3%
外来	4,609 人	4,583 人	26 人	100.6%
救急車搬送件数	3,058 件	2,819 件	239 件	108.5%

(人間ドック及び各種健診受診者数)

寿泉堂クリニック

健診内容	令和 5 年度	令和 4 年度	前年比
日本病院会指定による二日人間ドック	58 人	56 人	103.6%
日本病院会指定による一日人間ドック	3,452 人	3,537 人	97.6%
全国健康保険協会による生活習慣病予防健診	3,594 人	3,531 人	101.8%
一般事業所健診	7,953 人	7,863 人	101.1%
郡山市住民健診	2,220 人	2,125 人	104.5%
個人健診	247 人	240 人	102.9%
計	17,524 人	17,352 人	101.0%

特定保健指導	148 人	140 人	105.0%
保健栄養指導	957 人	1,025 人	93.4%

(いずみ訪問看護ステーション)

	令和 5 年度	令和 4 年度	前年比
利用者延人数	589 人	533 人	110.5%
訪問延件数	3,018 件	2,763 件	109.2%
新規利用者数	44 人	45 人	97.8%

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

	令和 5 年度	令和 4 年度	前年比
ケアプラン作成件数	1,831 件	1,796 件	102.0%
認定調査件数	26 件	0 件	—

(郡山南部指定介護予防支援事業所)

	令和 5 年度	令和 4 年度	前年比
介護予防プラン作成件数	2,943 件	2,885 件	102.0%

(2) 本年度導入した主な医療機器及びその他の機器は、次の通りである。

(寿泉堂総合病院)

手術室情報システム	バーチャルスライドスキャナー
高圧蒸気滅菌装置 2 台	汎用超音波画像診断装置
PACS サーバストレージ	水平層流排気フード付臓器固定水洗槽
個人用透析装置 2 台	医用テレメータ 8 人用
分娩台	スチームコンベクション
電子カルテオンラインバックアップシステム	院内ネットワーク機器

(寿泉堂香久山病院)

生化学自動分析装置	一般 X 線撮影間接変換 FPD 装置
-----------	---------------------

(寿泉堂クリニック)

透析用監視装置 4 台	大腸ビデオスコープ
微量血液凝固計	身体組成分析装置

(いずみ訪問看護ステーション)

介護システム (ワイズマン ICD システム)

(寿泉堂香久山居宅介護支援事業所)

介護システム (ワイズマン ICD システム)

6. 公 益 事 業 報 告

(1) 救急医療活動

- ① 救急医療に関し、郡山地区救急病院協議会、郡山地区第二次病院協議会の運営に協力した。
- ② 救急告示病院として、全日救急患者受け入れに対応した。さらに、郡山地区第二次病院群輪番制により毎週木曜日・金曜日と第 2 日曜日・第 4 日曜日を担当し、積極的に地域医療に協力した。担当日における時間外の取扱患者数は、次の通りである。

	令和 5 年度	令和 4 年度	増減	前年比
入院 (担当日)	1,138 人	977 人	161 人	116.5%
入院 (年度内総人数)	1,471 人	1,424 人	47 人	103.3%
外来 (担当日)	4,254 人	4,100 人	154 人	103.8%
外来 (年度内総人数)	4,609 人	4,583 人	26 人	100.6%
救急車搬送件数 (担当日)	1,846 件	1,611 件	235 件	114.6%
救急車搬送件数 (年度内総件数)	3,058 件	2,819 件	239 件	108.5%

- ③ 郡山市休日・夜間急病センターの二次病院として、毎週木曜日・金曜日と第 2 日曜日・第 4 日曜日を担当し、病床の確保等を通じ全面的に協力した。

(2) 育英事業

令和 5 年度の奨学生は、次の通りである。

福島県立医科大学看護学部	1 人
--------------	-----

群馬医療福祉大学看護学部看護学科	1人
国際医療看護福祉大学	1人
帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科	1人
新潟医療福祉大学看護学部看護学科	2人
医療創生大学看護学部看護学科	1人
北里大学保健衛生専門学院	1人
福島東稜高等学校看護専攻科	1人
太田看護専門学校	5人
公立岩瀬病院附属高等看護学院	1人
白河厚生総合病院附属高等看護学院	1人
福島看護専門学校	1人
郡山看護専門学校	4人
奥羽大学薬学部	1人

(3) 公衆衛生協力事業等

- ① 開放型病院として、38床の開放型病床を地域の登録医に開放した。
(利用率 36.5%)
- ② 所得に左右されることのない医療を提供するため、生活困窮者等を対象とした医療費減免を実施した。(実施件数 51 件)
- ③ 郡山市内小中学校 6 校の健康診断、妊婦健診、乳幼児並びに 3 才児健診を実施した。
- ④ 産業医として市内各事業所の産業安全衛生活動を実施した。
 - ・労働者の健康管理等を目的とした産業医活動を実施
(5 事業所 従業員総数 1,242 人)
 - ・健康相談・健康セミナーを事業所にて開催 (3 事業所 年間 28 回)
 - ・保健師による健康相談・保健指導を事業所にて開催
(1 事業所 年間 12 回)
- ⑤ 厚生労働省からの要請による院内感染対策サーベイランス事業に協力した。
- ⑥ エイズ治療拠点病院として、サーベイランス調査、HIV 感染患者の診療に協力した。
- ⑦ 周産期医療協力病院として、福島県周産期医療システムに協力した。
- ⑧ 出産を控えた患者と家族を対象として、毎週土曜日に予定していた「パパママクラス」は、COVID-19 の影響により年間を通し中止となった。
- ⑨ 献血事業協力のため、福島県赤十字血液センターでの採血協力のほか採血バスへの医師派遣を毎月 1 回ないし 2 回実施した。
- ⑩ 社会福祉法人いずみ福祉会への診療協力を実施した。
- ⑪ 郡山市の委託により地域包括支援センターを運営した。

(郡山南部地域包括支援センター運営実績)

	令和 5 年度	令和 4 年度	前年比
相談業務	22,627 件	12,964 件	174.5%
おたっしや長寿アンケート未回収者の実態把握	380 件	342 件	111.1%
地域ケア会議	4 回	9 回	44.4%
生活支援体制整備事業	10 回	9 回	111.1%
介護予防教室	17 回	23 回	73.9%
認知症サポーター養成講座	1 回	3 回	33.3%
ケアマネ交流会	0 回	2 回	—

⑫ 地域住民を対象とする健康教室等は、COVID-19 の影響により年間を通し中止となった。

⑬ 地域医療支援病院として、地域の医師、医療機関を対象とする医学講座並びに症例懇話会を開催した。

(医学講座)

令和 5 年 9 月 27 日	第 47 回寿泉堂病院公開医学講座 演題「覚醒下手術と高次脳機能について」 講師 福島県立医科大学脳神経外科学講座 主任教授 藤井正純先生
-----------------	--

(症例懇話会)

令和 5 年 7 月 19 日	整形外科	・身近な疾患 骨粗しょう症	参加人数 13 人
11 月 21 日	外科 消化器内科	・結腸軸捻転の 1 例 ・当科の治療内視鏡についてと壊死性小腸炎の 1 例	参加人数 23 人
12 月 5 日	寿泉堂忘年懇話会		参加人数 189 人

⑭ 地域医療支援病院として、地域医療従事者に向けた研修会を開催した。

(寿泉堂総合病院)

令和 5 年 5 月 17 日	公認心理師研修会 「ウィズコロナ時代のメンタルヘルス」	10 人参加
6 月 14 日	救急蘇生法講習会 「救急蘇生と AED の使い方」	20 施設参加
6 月 28 日	リハビリテーション科研修会 「そうだ!ストレッチしよう!!」	11 施設参加
11 月 10 日	栄養管理科研修会 「フレイル予防始めませんか? ~心身ともに健康であるために~」	10 施設参加
11 月 29 日	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師による研修会 「脳卒中後患者の再発防止」	13 人参加
12 月 19 日	がん化学療法看護認定看護師による研修会 「がん治療を支える看護師の役割」	11 人参加
令和 6 年 2 月 29 日	皮膚・排泄ケア認定看護師による研修会 「高齢者の皮膚トラブル」	29 人参加
3 月 28 日	緩和ケア認定看護師による研修会 「意思決定に伴う“ゆらぎ”に寄り添う」	10 人参加

⑮ 各種研修会講師、地域の健康増進、各種行事等へのスタッフ派遣に協力した。

令和 5 年 4 月 29 日	第 30 回郡山シティーマラソン 救護班	看護師 2 人
5 月 27 日	郡山市まちなか夢駅伝競走大会 救護班	看護師 2 人
6 月 27 日	介護予防支援従事者研修 講師	主任ケアマネ 1 人
7 月 17 日	福島県主任介護支援専門員更新研修 講師 (～8 月 3 日)	主任ケアマネ 1 人
8 月 4 日	第 59 回郡山うねめまつり 救護班 (～5 日)	看護師 2 人
8 月 27 日	第 76 回福島県総合スポーツ大会県中地域スポーツ大会 救護班	看護師 1 人
9 月 2 日	公衆衛生事業まちの保健室 (10 月 29 日)	保健師 2 人
9 月 6 日	福島県介護支援専門員専門研修Ⅰ 講師 (12 日)	主任ケアマネ 1 人
10 月 24 日	福島県看護力向上支援事業 講師 (於：福島県療育センター) 標準予防策「個人防護具」について	感染管理認定看護師 1 人
10 月 25 日	福島県介護支援専門員再研修・更新研修会 講師	主任ケアマネ 1 人
10 月 31 日	福島県自立支援に資するケアマネジメント基本研修 講師	主任ケアマネ 1 人
11 月 14 日	福島県介護支援専門員専門研修Ⅱ 講師 (～1 月 23 日)	主任ケアマネ 1 人
11 月 28 日	グループホームすぷりんぐ施設研修 講師	訪問看護師 1 人
令和 6 年 1 月 16 日	福島県介護支援専門員実務研修 講師	主任ケアマネ 1 人
1 月 23 日	能登半島地震の被災地へ災害支援ナース派遣 (～28 日)	看護師 2 人
3 月 6 日	郡山看護専門学校医療安全研修 講師 「医療安全について」	統括リスクマネージャー 1 人
3 月 16 日	能登半島地震の被災地へ福島県災害派遣福祉チーム (DWAT) スタッフ派遣 (～21 日)	社会福祉士 1 人 作業療法士 1 人

⑯ ボランティア運営委員会は、7 月よりボランティア活動を再開したが、ボランティア育成講座については、COVID-19 の影響により開催を中止した。

(ボランティア運営委員会)

寿泉堂総合病院 10 回

寿泉堂香久山病院 1 回

⑰ 地域のコミュニティスペースとして、寿泉堂総合病院の会議室を開放した。

令和 5 年 5 月 20 日	BLS プロバイダーコース（～21 日）	日本 ACLS 協会
6 月 18 日	ICLS 講習会	日本救急医学会
8 月 26 日	ACLS プロバイダーコース（～27 日）	日本 ACLS 協会
10 月 15 日	ICLS 講習会	日本救急医学会
10 月 28 日	令和 5 年度福島県地域医療症例検討会 福島県立医科大学医療人育成・支援センター	
11 月 26 日	第 17 回福島県糖尿病看護研究会	福島県糖尿病看護研究会
令和 6 年 2 月 4 日	第 18 回福島県糖尿病看護研究会	福島県糖尿病看護研究会
3 月 16 日	JMECC（救急・ICLS 講習会）コース	日本内科学会

(4) 研究研修事業

臨床研修医、医学実習生及びその他の実習生を受け入れた。また、関連大学に研究費の助成を実施した。

① 研究助成・事業援助の状況

(ア) 関連大学へ研究助成	35 件	60,050,000 円
(イ) 関連各種学会へ事業援助	5 件	850,000 円
(ウ) 地域への事業援助	22 件	383,200 円

② 初期臨床研修医の受入状況

(ア) 基幹型臨床研修病院（寿泉堂総合病院）

マッチングによる 2 年間の研修（医科） 1 年次 6 人 2 年次 6 人

マッチングによる 1 年間の研修（歯科） 1 人

(イ) 一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院の協力型臨床研修病院 (寿泉堂総合病院)

研修医 1 年次 8 人

研修期間 令和 5 年 8 月 14 日～令和 5 年 9 月 10 日
令和 5 年 9 月 11 日～令和 5 年 10 月 8 日
令和 5 年 10 月 9 日～令和 5 年 11 月 5 日
令和 5 年 11 月 6 日～令和 5 年 12 月 3 日
令和 5 年 12 月 4 日～令和 6 年 1 月 7 日
令和 6 年 1 月 8 日～令和 6 年 2 月 4 日
令和 6 年 2 月 5 日～令和 6 年 3 月 3 日
令和 6 年 3 月 4 日～令和 6 年 3 月 31 日

研修科目 産婦人科

③ 看護学生等の受入状況

	学校名	人数
看護学生	福島県立医科大学看護学部	69 人
	郡山看護専門学校	207 人
	医療創生大学看護学部	6 人
	ポラリス保健看護学院	12 人
	国際医療看護福祉大学校	1 人
薬学生	奥羽大学	3 人
リハビリテーション科学生	福島県立医科大学	2 人
	東北福祉大学	2 人
	仙台青葉学院短期大学	1 人
	国際医療福祉大学	1 人
臨床工学士学生	国際医療看護福祉大学校	2 人
視能訓練士学生	国際医療福祉大学	7 人
	新潟薬科大学附属医療技術専門学校	2 人
歯科衛生士学生	福島医療専門学校	23 人
栄養士学生	郡山女子大学	6 人
	郡山女子大学短期大学部	5 人
社会福祉士学生	郡山女子大学	1 人
事務関係学生	仙台医療秘書福祉専門学校	1 人
福島県介護支援専門員実務研修	福島県社会福祉協議会	1 人
福島県看護協会	訪問看護人材育成研修	1 人

④ 看護学生インターンシップ受入状況

学校名	人数
福島県立医科大学看護学部	8 人
岩手医科大学看護学部	1 人
医療創生大学	4 人
国際医療福祉大学	2 人
仙台赤門短期大学	1 人
上武大学	1 人
公立岩瀬病院附属高等看護学校	4 人

福島東稜高等学校	1 人
福島看護専門学校	2 人

⑤ 消防署救急医療実習受入状況

実習内容	人数
郡山地方広域消防組合・救急隊員病院研修	12 人

⑥ 一般の実習受入状況

実習内容	人数
福島県立郡山東高等学校看護体験	2 人
福島県立須賀川桐陽高等学校看護体験	1 人
日本大学東北高等学校看護体験	1 人
福島県立清陵情報高等学校職場体験	2 人
郡山市立御館中学校職場訪問	2 人

⑦ 研究事業

(ア) 学会発表演題数 (診療部) 24 題

(イ) 剖検数 4 体

⑧ 研修事業

(ア) 研究研修のための学会等への派遣 (延人数)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いずみ訪問	居宅介護	地域包括
診療部	—	126 人	4 人	8 人	—	—	—
看護部	—	81 人	69 人	8 人	—	—	—
診療支援部	—	56 人	11 人	2 人	—	—	—
事務部	7 人	56 人	13 人	—	—	—	—
その他	—	7 人	3 人	—	—	—	—
合計	7 人	326 人	100 人	18 人	—	—	—

(Web 研修)

	本部	寿泉堂	香久山	クリニック	いずみ訪問	居宅介護	地域包括
診療部	—	33 人	9 人	6 人	—	—	—
看護部	—	12 人	13 人	6 人	—	—	—
診療支援部	—	15 人	11 人	3 人	—	—	—
事務部	—	17 人	7 人	1 人	—	—	—
その他	—	1 人	—	—	—	—	—
合計	—	78 人	40 人	16 人	—	—	—

(イ) 教育研修等

(法人)

令和 5 年 8 月 23 日	プロジェクト E&T 階層別研修会 (管理職)	55 人参加
10 月 20 日	令和 4 年度新役職者研修会	13 人参加
10 月 26 日	令和 5 年度新役職者研修会	16 人参加

12月9日	新役職者考課者訓練	15人参加
12月12日	新入職員フォローアップ研修会	44人参加
12月19日	第30回寿泉堂病院学会（～1月12日Web配信）	697人参加
令和6年2月21日	プロジェクトE&T課題別研修会（医師・管理職） 「病院の将来とスタッフの幸せを考える」 講師 ㈱MATコンサルティング代表取締役社長 望月広愛	60人参加
3月1日	プロジェクトE&T課題別研修会（プロジェクトメンバー）	16人参加

（寿泉堂総合病院）

令和5年9月16日	保険診療に関する研修会 「当院の在宅医療に関わる診療報酬について」 （～30日Web配信）	497人参加
令和6年3月7日	MRIの安全管理に関する研修会（～3月31日Web配信）	149人参加
3月17日	保険診療に関する研修会 「退院支援における診療報酬について」（～3月31日Web配信）	425人参加
3月21日	高齢者医療研修会	49人参加

（寿泉堂香久山病院）

令和5年11月7日	柴信行医師就任記念研修会 「循環器疾患について」	65人参加
-----------	-----------------------------	-------

（寿泉堂クリニック）

令和5年8月31日	接遇研修会（9月13日） 「相手の手の届く接遇を目指して」	73人参加
-----------	----------------------------------	-------

（ウ）海外研修 COVID-19の影響により中止

7. 設備改修工事等報告

令和5年度に実施した主な工事は、次の通りである。

（寿泉堂総合病院）

- ・GCU・NICU第1期改修工事
- ・照明器具LED化工事
- ・加圧給水ユニット工事
- ・中央監視装置部品更新工事
- ・直流電源装置蓄電池更新工事

（寿泉堂香久山病院）

- ・屋上空調設備工事
- ・照明器具LED化工事

（寿泉堂クリニック

- ・地下揚水ポンプ更新工事

8. 労 使 関 係 報 告

- (1) 令和 5 年 4 月 1 日からの休日・時間外労働(36 協定)に関する労使協定を行った。
- (2) 令和 5 年 4 月 1 日付、職務手当（代行職）に関する就業規則の変更を実施した。
- (3) 令和 5 年 4 月 1 日付、中央手術室 週休 2 日制における導入条件の変更の覚書を締結した。
- (4) 令和 5 年 5 月 12 日開催の労使協議会において、令和 5 年度の給与改定について妥結した。昇給率 1.94% 昇給額 3,781 円（標準 5 号の定期昇給）
- (5) 令和 5 年 5 月 12 日開催の労使協議会において、令和 5 年度の上期賞与の支給率について妥結した。（基本給+調整手当 4,000 円）×（基準賞与 1.5 ヶ月+業績賞与 0.9 ヶ月）
- (6) 令和 5 年 5 月 25 日開催の給与委員会において、日当直手当改定における未精算分に関する労使協定を行った。
- (7) 令和 5 年 7 月 24 日付、寿泉堂総合病院 8 階病棟の夜勤勤務時間及び長日勤休止の申入れを行った。
- (8) 令和 5 年 7 月 31 日付、寿泉堂総合病院臨床検査科、栄養管理科の早番・遅番の勤務時間変更の労使協定を行った。
- (9) 令和 5 年 10 月 1 日より、第 3 土曜日休診における就業規則の変更を行った。
- (10) 令和 5 年 10 月 1 日より、寿泉堂総合病院産婦人科病棟における完全週休 2 日制の試験導入の覚書を締結した。
- (11) 令和 5 年 10 月 19 日付、寿泉堂総合病院臨床検査科の半直勤務時間の変更申入れを行った。
- (12) 令和 5 年 11 月 6 日付、年末年始特別休暇（12 月 30 日）の取扱い変更の申入れを行った。
- (13) 令和 5 年 11 月 22 日開催の労使協議会において、令和 5 年度下期賞与の支給率について妥結した。（基本給+調整手当 4,000 円）×（基準賞与 2.0 ヶ月+業績賞与 0.4 ヶ月）
- (14) 令和 5 年 12 月 14 日付、医療共済会拠出金変更の覚書を締結した。
- (15) 令和 6 年 2 月 5 日付、寿泉堂総合病院・寿泉堂香久山病院の看護補助者処遇改善に関する労使協定を行った。
- (16) 労使双方の代表によって構成する「給与委員会」を定例開催した。

9. 庶務事項報告

(1) 令和6年3月31日現在の職員数は次の通りである。

(単位：人)

	医師		看護師・准看護師		医療技術員		事務職員		その他		計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
本部			2				14	2			16	2
寿泉堂	57	85	234	23	100	1	82	4	37	3	510	116
香久山	7	8	95	2	52		19		64	2	237	12
クリニック	5	11	34	3	10		12	3	1	1	62	18
いずみ訪問			5								5	0
居宅介護			5				2				7	0
包括支援			4				1				5	0
計	69	104	379	28	162	1	130	9	102	6	842	148

※休職者除く

- (2) 公認会計士による法定監査を受けた。
- (3) 当法人及び寿泉堂松南病院を退職した元職員による寿泉堂病院 OB 会「寿友会」の運営に協力した。
- (4) 従業員の健康確保、労働環境確立と労働能力の高揚を目的に、各施設において衛生委員会（昭和55年1月制定）を12回開催した。
- (5) 医療安全の確保を目的とした医療安全管理委員会、医療安全対策委員会及び職員研修会を次の通り開催した。

（医療安全管理委員会、医療安全対策委員会）

寿泉堂総合病院	24回
寿泉堂香久山病院	12回
寿泉堂クリニック	6回

（医療安全管理研修会）

令和5年 4月 5日	令和5年度新採用者医療安全研修会（6日） 「医療安全」	44人参加
4月 10日	令和5年度新採用者医療安全研修会 「薬剤について」	21人参加
4月 20日	令和5年度新採用者医療安全研修会 「輸液・シンリンジポンプ」	20人参加
4月 24日	新採用者看護補助者研修会（随時） 「医療安全～患者誤認による重大事故対策を中心に」	10人参加
7月 4日	医療安全管理研修会（～31日） 「医療機関で備えておきたいサイバーセキュリティ対策」	寿泉堂香久山病院 253人参加
7月 20日	医療安全管理研修会（～8月23日） 「チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全」	562人参加
9月 21日	医療安全管理研修会（～26日） 「チームの力を引き上げる！多職種で取り組む医療安全」	寿泉堂クリニック 62人参加
12月 1日	医療安全管理研修会（～26日） 「チームの力で引き上げる多職種で取り組む医療安全」	寿泉堂香久山病院 255人参加

令和6年 1月 29日	医療安全管理研修会（～3月8日） 「事例からの振り返り」	539人参加
3月 25日	医療安全管理研修会（～29日） 「令和5年度インシデントの振り返り」	寿泉堂クリニック 67人参加

- (6) 院内感染の予防と拡大防止を目的とした院内感染対策委員会（平成4年4月制定）を12回開催し、職員研修会を次の通り開催した。

（感染対策研修会）

令和5年 4月 4日	新採用者感染研修会（5日） 「感染について」	44人参加
4月 24日	新採用者看護補助者研修会（随時） 「感染対策の基本」	10人参加
6月 26日	感染対策研修会（～8月4日） 「最近の梅毒について」	557人参加
7月 7日	感染対策研修会（～19日） 「当院での活動報告」	寿泉堂クリニック 66人参加
8月 1日	感染対策研修会（～25日） 「疥癬について」	寿泉堂香久山病院 251人参加
10月 25日	感染対策研修会 「当院の耐性菌検出状況について」	552人参加
令和6年 1月 9日	感染対策研修会（～31日） 「消毒と細菌」	寿泉堂香久山病院 258人参加
1月 29日	感染対策研修会（～2月2日） 「自分自身を守る医療関連感染対策」	寿泉堂クリニック 72人参加

- (7) 医療ガス（診療の用に供する酸素、窒素、各種麻酔ガス等）設備の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療ガス安全委員会及び医療ガス設備取扱講習会を次の通り開催した。

（委員会）

寿泉堂総合病院	令和5年12月26日
寿泉堂香久山病院	令和6年3月25日
寿泉堂クリニック	令和6年3月5日

（取扱講習会）

寿泉堂総合病院	令和5年4月5日
	令和5年7月1日
寿泉堂クリニック	令和6年3月14日

- (8) 透析機器の安全管理を図り患者の安全を確保するため、医療機器取扱セミナーを次の通り開催した。

（医療機器取扱セミナー）

寿泉堂クリニック	令和5年10月2日
	令和6年3月26日

(9) 防火避難訓練を次の通り実施した。

寿泉堂総合病院	令和 5 年	7 月	14 日	教養型消防・防災訓練（総合訓練）
		7 月	24 日	洪水時の避難確保訓練（総合訓練）
寿泉堂香久山病院	令和 5 年	8 月	22 日	（総合訓練）
	令和 6 年	3 月	22 日	（総合訓練）
寿泉堂クリニック	令和 5 年	6 月	27 日	（総合訓練）
		9 月	1 日	（透析センター 日本透析医会主催 災害時情報伝達訓練参加）
	令和 6 年	9 月	1 日	（透析センター 福島県透析連絡会議主催 MCA 無線使用災害時情報伝達訓練参加）
		3 月	26 日	（部分訓練）
さくら保育園				毎月第 3 木曜日

(10) 令和 5 年度の職員に対する外部団体からの表彰は、次の通りである。

令和 5 年 10 月 29 日	令和 5 年度福島県看護協会長表彰 優良看護師 牛来義勝、横田民江
11 月 8 日	令和 5 年度郡山地区産業安全衛生大会 衛生優良管理者 高谷美恵子、七見幸夫 衛生優良従業員 田村美香、中村華乃
令和 6 年 2 月 8 日	令和 5 年度郡山公衆衛生大会 優良看護師 荒井志津江 優良栄養士 田代聡子 優良集団給食従事者 佐藤 圭

10. 主 要 記 事

令和 5 年	4 月 1 日	新入職員入社式並びに辞令交付式
	5 月 13 日	看護学生を対象に「病院説明会」（6 月 24 日）
	6 月 2 日	郡山駅前一丁目第二地区第一種市街地再開発事業安全祈願祭
	8 月 17 日	ISO サーベイランス審査（～18 日）（寿泉堂香久山病院）
	8 月 21 日	令和 5 年度永年勤続者表彰 43 人 40 年勤続表彰 2 人 30 年勤続表彰 2 人 20 年勤続表彰 15 人 10 年勤続表彰 24 人
	9 月 21 日	東北厚生局集团的個別指導（寿泉堂香久山病院）
	10 月 7 日	さくら保育園遠足
	10 月 15 日	第 12 回寿泉堂病院ゴルフ大会
	11 月 11 日	解剖慰霊祭
	12 月 1 日	郡山市による令和 5 年度認可外保育所施設立入調査（さくら保育園）
	12 月 5 日	東北厚生局適時調査（寿泉堂香久山病院）

	12 月	21 日	医療機能評価訪問審査	(寿泉堂クリニック)
	12 月	23 日	さくら保育園クリスマス会	
令和 6 年	3 月	21 日	さくら保育園お別れ会	
	3 月	22 日	定年退職者特別表彰式	
	3 月	27 日	令和 5 年度医師・歯科医師臨床研修修了式	